日本中東学会ニューズレター

JAMES
NEWSLETTER

No.170
2023/4/28

目　　次

第 20 期理事職掌分担.....1
第 20 期事務局.....2
総会開催のご案内.....2
日本中東学会第 39 回年次大会の案内と最終プログラム.....3
寄贈図書.....9
会員の異動.....10
事務局より.....10

第 20 期理事職掌分担

第 20 期理事の職掌分担について下記のとおりに決定しました。

会長：保坂修司
事務局長：小澤一郎
総務担当：堀抜功二
AJAMES 編集委員会：福田義昭（編集長）、菊地達也（副編集長）、錦田愛子（副編集長）
国際交流委員会：岩崎えり奈（委員長）、佐藤健太郎、森本一夫
企画担当：五十嵐大介、嶺崎寛子
広報担当：秋葉淳
財務・会則担当：山口昭彦
渉外担当：後藤絵美
ニューズレター・書記担当：熊倉和歌子

年次大会担当：大川真由子、大塚修

（青山弘之　ニューズレター・書記担当理事（第 19 期））

第 20 期事務局

第 20 期理事会の事務局は下記のとおりです。

〒603-8577　京都府京都市北区等持院北町 56-1
立命館大学文学部　小澤一郎研究室内
日本中東学会事務局
E-mail: james@james1985.org
http://www.james1985.org/

（小澤一郎　事務局長）

総会開催のご案内

2023 年度の日本中東学会総会は以下の通り開催いたします。

日時：5 月 13 日（土）16:00～17:00
開催形式：ハイフレックス形式（対面・Zoom ミーティング併用）
会場（対面の場合）：つくば国際会議場（茨城県つくば市竹園 2-20-3）
※公開講演会と同じ会場です。

ご出席については、お手数ですが中東学会ホームページ上のフォームより事前のご登録をお願いします（配布資料準備の都合上、対面での出席を予定されている方も登録をお願いします）。Zoom ミーティングでの参加をご希望の場合、アドレスなどの情報は総会開催前に登録者へ別途送付いたします。また、総会にご出席ができない会員については、同登録フォームにより事前に委任状をご提出ください。出欠登録・委任状の送付とも、締め切りは 5 月 10 日（水）12 時です。
多くの皆様のご出席をお待ちしております。

*中東学会総会の登録フォームには以下のリンクからもアクセスできます。
https://forms.gle/5YRxeDkbz3QUuhSw9

（小澤一郎　事務局長）

日本中東学会第 39 回年次大会の案内と最終プログラム

日時：2023 年 5 月 13 日（土）、14 日（日）
開催校：筑波大学（ハイフレックス方式、対面方式）

日本中東学会第 39 回年次大会は、2023 年 5 月 13 日（土）および 14 日（日）に開催されます。大会一日目に公開講演会、総会、懇親会を、二日目に個人研究発表・企画セッションを行います。会場は、大会一日目はつくば国際会議場、二日目は筑波大学筑波キャンパス春日エリアとなります。公開講演会および総会は、ハイフレックス方式（対面・オンライン併用）、個人研究発表・企画セッションは、対面方式を予定しています。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

１．参加申し込みについて

日本中東学会第 39 回年次大会への参加につきまして、大会一日目の公開講演会にオンラインで参加するには、事前申し込みが必要です（公開講演会に対面で参加する場合は、事前申し込みの必要はありません）。また、公開講演会の参加費は無料です。他方、大会一日目の懇親会、大会二日目の個人研究発表・企画セッションに参加するには、事前申し込みが必要です。また、個人研究発表・企画セッションに参加するには、大会参加費の支払いが必要です。なお、懇親会や個人研究発表・企画セッションの参加に関し、当日の会場での参加申し込みや大会参加費等の支払いは、原則受け付けないことになっております。
大会の事前申し込みの締め切りは、5 月 8 日（月）に延期させていただきます。以下のフォームから、参加申し込みと大会参加費や懇親会費のお振込みをお願いいたします。大会参加費は 1,500 円、懇親会費は 6,000 円（学生会員 5,000 円）とさせていただきますので、以下の銀行口座にお振込み願います。

大会一日目：公開講演会（オンライン参加の場合）
※事前申込フォーム：https://forms.gle/TN8eJrwJUKMmh7NN7
大会一日目：懇親会、大会二日目：個人研究発表・企画セッション
※事前申込フォーム：https://forms.gle/tiaGGN3BVEsd4mycA

銀行口座：常陽銀行　研究学園都市支店（店番号 104）（普）口座番号 4046916
名義：日本中東学会第 39 回年次大会実行委員会
（ﾆﾎﾝﾁｭｳﾄｳｶﾞｯｶｲﾀﾞｲｻﾝｼﾞｭｳｷｭｳｶｲﾈﾝｼﾞﾀｲｶｲｼﾞｯｺｳｲｲﾝｶｲ）

なお、懇親会、個人研究発表・企画セッションにつきまして、非会員の方も参加可能ですが、参加登録時に会員の紹介者が必要となります。お知り合いの非会員の方が参加を希望された場合には、会員の皆様に紹介者となっていただきますようお願いいたします。紹介者となる方は、参加登録時に紹介者のお名前を紹介者蘭に入力

するよう、非会員の方にお伝え願います。

２．託児サービスについて

大会一日目、二日目ともに、託児サービスへの費用補助を予定しております。

- 託児サービスへの費用補助につきましては、お子様一人につき一人あたり 5000 円を上限に費用を補助いたします。ご利用を希望される方は、5 月 6 日（土）までに、以下のフォームから申し込みをお願いします。また、大会終了後 1 週間以内に利用の詳細と利用がわかるものを事務局メールにてご送付願います。

※託児費用補助申込フォーム：https://forms.gle/rfGtczJc53Mgb2rcA

３．宿泊について

以下の URL に大会会場に隣接する宿泊施設の一覧がありますので、ご参考願います。
https://www.epochal.or.jp/ja/フロアガイド/周辺ガイド/宿泊施設/

４．その他

（1）ご登録と大会参加費の振り込みが確認できた方に、大会二日目の特設ポータルサイトの URL をご案内いたします。

（2）大会二日目の研究発表では、印刷した研究発表要旨集を会場で配布せず、大会用ポータルサイトにアップロードします。ご来校される皆様には、会場における無線 LAN への接続方法をご案内しますので、各自 PC をご持参くださるようお願いいたします。また、研究発表要旨集は、当日無線 LAN へアクセスして参照することも可能ですが、トラブル回避のためになるべく事前に大会ポータルサイトからダウンロードしておいていただけますと幸いです。

（2）大会二日目の昼食につきましては、学食が閉鎖されているため、TX つくば駅周辺の飲食店等でとっていただくか、お弁当を持参されることをお勧めします。なお、二日目の会場からつくば駅までは徒歩約 9 分の距離です。以下、つくば駅周辺グルメマップをご参考願います。

※つくば駅周辺グルメマップ：https://www.tsukucen.net/about/gourmetmap/

５．日本中東学会第 39 回年次大会プログラム（2023 年 4 月 23 日現在）

日時：2023 年 5 月 13 日（土）、14 日（日）
5 月 13 日（土）：公開講演会、総会、懇親会
5 月 14 日（日）：個人研究発表・企画セッション

会場：
公開講演会・総会：つくば国際会議場（茨城県つくば市竹園 2-20-3）
https://www.epochal.or.jp/ja/

※TX つくば駅から徒歩約 8 分
懇親会：ホテル日航つくば・本館 3F ジュピター
（茨城県つくば市吾妻 1 丁目 1364-1）
https://www.nikko-tsukuba.com/banquet/jupiter/
※TX つくば駅から徒歩約 2 分
個人研究発表・企画セッション：筑波大学（筑波キャンパス春日エリア）
（茨城県つくば市春日 1-2）
https://www.slis.tsukuba.ac.jp/grad/access/access/
※TX つくば駅から徒歩約 9 分

第一日目：2023 年 5 月 13 日（土）
13:00-15:40　公開講演会（＊ハイフレックス方式：対面と Zoom の併用）
16:00-17:00　日本中東学会総会（＊ハイフレックス方式：対面と Zoom の併用）
18:00-20:00　懇親会

【公開講演会】
「不確実な時代における中東研究の可能性：化石燃料、食薬資源、再生可能エネルギーの観点から」

第一次石油危機から 50 年を迎え、新型コロナ拡大やウクライナ危機による食料・エネルギー価格高騰等が起こる中、SDGs（持続可能な開発目標）達成や人々の well-being 向上を図ることは重要な課題となっている。中東地域は、エネルギー安全保障の観点から日本にとって重要なパートナーであるとともに、石油や天然ガス等の化石燃料、食薬資源、太陽光や水素を含む様々な資源の宝庫であり、今後の新たな発展の可能性を秘めている。また、現在世界が直面している気候変動は、中東と日本の関係や今後の協力の在り方に大きな変化をもたらしている。本公開講演会では、中東と日本の過去と現在、そしてポストコロナを含む今後 50 年を見据え、化石燃料、食薬資源、再生可能エネルギーの観点から、不確実な時代の中でも、中東地域にはどんな魅力やポテンシャルがあるのか、持続可能な社会に向けて日本と中東はどのような課題を共有し、どのような協力が可能か、また、今後どのような中東研究が求められているのか等を議論する。これにより、中東地域の理解を深めるとともに、中東研究に新たな視座を拓くことを目的としたい。

全体司会：松尾昌樹（宇都宮大学／大会実行委員）
開会挨拶：柏木健一（筑波大学／大会実行委員長）
木越英夫（筑波大学地中海・北アフリカ研究センター）
講演者：近藤重人（日本エネルギー経済研究所）
「中東・日本関係の過去と将来：エネルギー安全保障と気候変動の視点から」
講演者：礒田博子（筑波大学）

「北アフリカ食薬成分機能性解析の文理融合研究による新展開」
講演者：岡島敬一（筑波大学）
「再生可能エネルギー由来水素製造とサプライチェーン：中東への期待」
質疑応答・全体討論
討論者：塩尻和子（アラブ調査室）
討論者：長沢栄治（東京大学）
閉会挨拶：（日本エネルギー経済研究所／日本中東学会会長）

主催：日本中東学会
共催：筑波大学地中海・北アフリカ研究センター

第二日目：2023 年 5 月 14 日（日）
12:20-13:50　企画セッション（＊対面方式）
9:30-12:10／14:00-16:40　個人研究発表（＊対面方式）
＊氏名の右側の（　）内は所属、J は大学院生を示す。

【企画セッション】
12:20-13:50（場所：情報メディアユニオン 101-1）
「ポスト 2003 イラクにおけるアート、ワタン／ホームランド、抵抗」
司会：岡真理（早稲田大学）
発表者：
相澤恭行（文化芸術団体 ChalChal）「アートの視点から：ワタンの再創造へ」
岡真理（早稲田大学）「文学の視点から」
酒井啓子（千葉大学）「路上の抵抗から」

【個人研究発表】
第一部会（場所：7A101）
1-1)　09:30-10:10　秋葉淳（東京大学）「オスマン帝国シャリーア法廷の役割の再検討: 1840 年代の法廷収入簿より」
1-2)　10:10-10:50　篠田知暁（東京外国語大学）「この世で最も不幸な人々：16 世紀モロッコの改宗者たち」
1-3)　10:50-11:30　伊藤匠平（東京大学 J）「サロニカ社会主義労働者連盟の活動からみるオスマン末期の社会主義者と労働者」
1-4)　11:30-12:10　早矢仕悠太（東京大学 J）「中世マーリク派法学における相隣権概念の再検討」
1-5)　14:00-14:40　大河原知樹（東北大学）「家族の歴史を復元する：ダマスカスの事例」
1-6)　14:40-15:20　松原康介（筑波大学）「古代都市の再構築：ダマスクス 1968 年マスタープランの研究」

1-7) 15:20-16:00 中鉢夏輝（京都大学 J)「インドネシアにおけるエコ・モスクの成立背景：水・環境倫理・イスラーム法の観点から」

1-8) 16:00-16:40 Aqil Cheddadi (Keio University) “Defending the Right to the City: Community Activism and Resistance of Moroccan Bidonville Dwellers to Forced Relocation”

第二部会（場所：**7A102**）

2-1) 09:30-10:10 大坪玲子（東京外国語大学）「韓国で働くイエメン難民」

2-2) 10:10-10:50 望月葵（日本学術振興会特別研究員）「シリア難民危機をめぐる受入国の論理：人道主義と安全保障の観点から」

2-3) 10:50-11:30 鈴木慶孝（日本学術振興会特別研究員）「トルコのシティズンシップ：移民・難民・マイノリティの包摂を焦点として」

2-4) 11:30-12:10 クレシ・サラ好美（慶應義塾大学 J)「日本に暮らすムスリム第二世代：学校教育現場における実態の検証」

2-5) 14:00-14:40 小島宏（早稲田大学)「コロナ禍の英国におけるムスリム若者におけるインターネット利用と宗教関連行動」

2-6) 14:40-15:20 ハシャン・アンマール（立命館大学)「現代ワクフ（寄進財産）研究とイスラーム・フィンテックの新段階へ向けて：課題と展望」

2-7) 15:20-16:00 桐原翠（立命館アジア・日本研究機構)「国際的なハラール産業の拡大の新動向：マレーシアのイスラーム経済政策との相関から」

2-8) 16:00-16:40 佐藤馨大（秋田大学 J)「イランにおける新型コロナウイルスの感染状況と大気汚染の関係」

第三部会（場所：7A103）

3-1) 09:30-10:10 岡崎弘樹（亜細亜大学)「シリア・ムスリム同胞団員のパルミラ監獄手記を読む」

3-2) 10:10-10:50 浪内紫雲（東京外国語大学 J)「シリアにおける市民社会と政権との関係：シリア開発信託を事例として」

3-3) 10:50-11:30 So Yeon Ahn (Dankook University) “A Study on the Changes and Challenges Facing Islamic Parties after the Arab Spring: The Transformation of Tunisian and Moroccan Islamic Parties from Marginalized Political Parties to Established Political Parties”

3-4) 11:30-12:10 Mostafa Khalili (Kyoto University) “The Protest Movement in Iran from the Lens of Peripheries: The Perception of the “Woman, Life, Freedom” Movement Among Ethnic Minorities”

3-5) 14:00-14:40 吉田智聡（防衛省防衛研究所)「反乱軍から擬似的国家治安機関への道程：フーシー派の国民軍プロパガンダに関する一考察」

3-6) 14:40-15:20 岡野内正（法政大学)「男を殺せ！：アブドゥッラー・オジャランの武装ジェンダー革命論」

3-7)　15:20-16:00　山岡陽輝（慶應義塾大学 J)「現代におけるイスラーム国家の構想：解放党の『カリフ制国家』構想を事例として」

第四部会（場所：**7A104**）

4-1)　09:30-10:10　山本健介（静岡県立大学）「コロナ禍初期の東エルサレム：『生の序列化』とパレスチナ人の危機対応」

4-2)　10:10-10:50　江﨑智絵（防衛大学校）「ガザ指導部を中心とするハマースの対外政策：ハニーヤ政治局長の 1 期目（2017～2021 年）を事例として」

4-3)　10:50-11:30　今野泰三（中京大学）「ベドウィンが生きた帝国と植民地主義：パレスチナ北部のバイサーン地方を中心に」

4-4)　14:00-14:40　岡部友樹（大阪経済法科大学）「レバノン内戦における宗派と暴力：集団内暴力と集団間での紛争に着目して」

4-5)　14:40-15:20　児玉恵美（東京外国語大学 J)「レバノン内戦期における強制移動：レバノン人キリスト教徒の故郷をめぐる記憶から」

4-6)　15:20-16:00　李乗漢（神戸大学 J)「イスラエルにおける核兵器開発及び保有政策の不透明性：ディモナ原子炉をめぐる 1960 年代の国内政治過程とソ連の軍事的脅威」

4-7)　16:00-16:40　中村友紀（筑波大学 J)「占領影響下のヨルダン川西岸地区における農業普及がパレスチナ人農家の技術の採用に及ぼす効果の定量的分析」

第五部会（場所：**7A105**）

5-1)　09:30-10:10　近藤文哉（上智大学）「現代エジプトの預言者・聖者生誕祭における国家の管理・統制および市民の祝祭経験に関する一考察」

5-2)　10:10-10:50　山口匠（東洋大学）「現代モロッコにおける権威主義体制の動態：パンデミック後のマフザン体制を問う」

5-3)　10:50-11:30　村上拓哉（中東戦略研究所）「王朝君主制の終焉？：湾岸諸国における君主・皇太子への権力集中の趨勢」

5-4)　11:30-12:10　米田優作（立命館大学 J)「現代エジプト権威主義体制下におけるサラフィー主義者の政治姿勢：ヌール党関係者の著作分析から」

5-5)　14:00-14:40　白谷望（愛知県立大学）「2021 年モロッコ国民議会選挙におけるイスラーム主義政党の惨敗と王党派政党の躍進」

5-6)　14:40-15:20　青木健太（中東調査会）「イランの対外政策と非国家主体：アフガニスタン人の動員を事例に」

5-7)　15:20-16:00　中村覚（神戸大学）「ムハンマド・ビン・アブドゥルワッハーブはなぜムスリムと戦ったのか」

第六部会（場所：**7A106**）

6-1)　09:30-10:10　竹田敏之（立命館大学）「アラビア語研究の新分野としての文法源学（Usul al-Nahw）」

6-2)　10:10-10:50　榮谷温子（慶應義塾大学）「総称指示との関係から見たアラビア語の『一般化（タアミーム）』」
6-3)　10:50-11:30　村上武則（東京外国語大学）「クルド語翻訳と古典の『クルド化』」
6-4)　14:00-14:40　濱田聖子（東京大学）「ジャーヒズ作品における『真面目さと冗談』の手法」
6-5)　14:40-15:20　ウェルズ桜（立命館大学 J）「リファーア・タフターウィーによる文化間対話の試みと意図：『パリ要約のための黄金の精錬』を中心に」

第七部会（場所：7A210）

7-1)　09:30-10:10　黒田賢治（国立民族学博物館）「1907 年マッカの旅？：中島裁之の世界旅行と国際親善」
7-2)　10:10-10:50　ヘバタッラー・オマル（名古屋大学）「エジプトと日本のお互いのジェンダー表象」
7-3)　10:50-11:30　Nicholas Mangialardi (Williams College) “Japan in Egyptian Popular Culture”
7-4)　11:30-12:10　Alaa Elsharqawy (Cairo University J) “Japan and Suez Crisis”

主催：日本中東学会
共催：筑波大学地中海・北アフリカ研究センター

６．大会についての連絡先

日本中東学会第 39 回年次大会実行委員会事務局
委員長：柏木健一
事務局長：松原康介
委員：岩崎えり奈、江﨑智絵、上山一、近藤重人、佐藤麻理絵、塩谷哲史、松尾昌樹

〒305-8572 茨城県つくば市天王台 1-1-1
筑波大学地中海・北アフリカ研究センター
電話：029-853-3992、080-3393-4470　ファクス：029-853-5776
E-mail：james2023tsukuba[at]gmail.com（[at]は@に読み直してください）

（第 39 回年次大会実行委員会）

寄贈図書

【単行本】

義澤幸恵『オランダのムスリム移民――「柱状化」と多文化主義の可能性』明石書店、2023 年

（小澤一郎　事務局長）

会員の異動

【2022 年度末をもって大会した会員】

鮎合　真介　　五十嵐　和代　　伊能　武次　　宇野　陽子　　奥野　克己
加藤　博　　私市　扶木子　　阪田　順子　　鈴木　均　　中村　明日香
松木　祐馬　　松本　ますみ　　柳橋　博之　　吉村　慎太郎　　渡辺　卓弥

【新入会員】

岡野内　恵里子
高橋　英海　　東京大学
中川　流衣　　北海道大学大学院文学院
Noor J.E. Abushammalah　　九州大学

【連絡先不明者】

下記の会員の方々は、連絡先が不明なため、学会からのお知らせなどをお届けすることができないでおります。連絡先をご存じの方は、学会事務局までご連絡いただけますよう、ご面倒でもご本人にお伝えいただければ幸いです。

イブラヒム・ワリード・ファルーク　　北川　明　　後藤　信介　　近藤　百世
住吉　大樹　　ターリク　フセイン　ハカミー　　築地　孝治　　苗村　卓哉
西川　優花　　西舘　康平　　沼田　彩誉子　　林田　花枝
ファトヒー　モハンマド　　三橋　咲歩　　モハメド　オマル　アブディン
ヤズィード・ナーセル　　山下　瑶子　　横田　吉昭
Abuhajir Rehab A.　　Abhu-Hajiar Iyas Salim　　Mohamad Haidar Reda

（小澤一郎　事務局長）

事務局より

2023 年度から 2 年間、立命館大学文学部で中東学会の事務局をお引き受けすることになりました。学会関連のお仕事はこれまでにあまり経験がなく、現在は理事や前事務局の皆様のご指導のもと、「よちよち歩き」で何とか船出したところです。なお、会計担当の副事務局長として、日本学術振興会特別研究員（PD）の望月葵会員にもお手伝いいただいています。会員の皆様には、引き続きご指導ご鞭撻のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

なお、今年度の大会は 5 月 13 日から 14 日まで、対面・Zoom 併用のハイフレックス形式（2 日目の個人発表は対面形式）で開催されますが、今回も昨年度と同様、会場での年会費の受け付けは行いません。お手元の請求書をご確認のうえ、振り込みをお願いします。

（小澤一郎　事務局長）

日本中東学会ニューズレター　第 170 号
発行日　2023 年 4 月 28 日
発行所　日本中東学会事務局

日本中東学会事務局
〒603-8577
京都府京都市北区等持院北町 56-1
立命館大学文学部　小澤一郎研究室内
E-mail: james@james1985.org
http://www.james1985.org/
郵便振替口座：00140-0-161096（日本中東学会）
ゆうちょ銀行口座：〇一九店（当）0161096
（ニホンチュウトウガクカイ）